

「りんか 409」等サカタのトマト栽培管理について

(株)サカタのタネ

・栽培のポイント

- ・水分管理 → **少量多回数灌水**・通路灌水 萎れさせない管理がポイント！
- ・異常茎対策 → **適切な施肥設計**・灌水管理・ホルモン処理
- ・高温・曇雨天対策 → 遮光・通路灌水・液肥葉面散布
- ・病害虫対策 → 防除を基本とした農薬散布

・水分管理 ～夏のトマトは水で作る～ 萎れ対策が重要！

- 活着まで：基本は手灌水。極端に乾燥しないよう迷ったら早めに灌水！
 - 1段開花～膨らみ始め：土壌が乾きすぎないように本格灌水開始。**少量多回数灌水！**
 - 2段開花以降：**少量多回数灌水**で徐々に量を増やしていく。通路灌水も併用！
 - 摘心以降：徐々に灌水量を減らしていくが、終盤まで継続。**少量多回数灌水！**
- 曇天時は晴天日の50～60%、雨天時は晴天日の10～20%の量を目安

※一度に大量灌水△ →**不足しないよう小まめに灌水**◎ →**少量多回数灌水！**

※いかに水を切らさなかったか？＝秋の着果数と玉サイズに大きく影響。軟化玉、裂果も減少。

- 通路灌水：2～3段開花以降を目安に開始→ハウス内温度抑制・裂果の軽減に効果◎
通路灌水後の乾燥は根傷み・ストレス→必ず定期的に灌水。7～10日以内の間隔目安。

・施肥管理 元肥控えめ、追肥早め、リン+カリ+微量要素も活用

- 追肥量は1段あたり窒素成分量で **0.5～1.0kg/10a** を目安（前作がスイカ、キュウリ等の方は特に元肥の窒素分を控えめにし、追肥で補うようにする）
- 高温時期（9月末まで）は、アンモニア態窒素△ →硝酸態窒素○・**アミノ態窒素**◎
- アミノ態窒素は利用効率が高く、窒素過剰害が出にくい →**ネイチャーエイド！**

※**窒素過剰害** ⇨葉が大きくなり過ぎる →異常茎・低段の極大玉化・裂果・ガサ玉・乱形果・病害の発生 ⇒追肥、灌水の遅れ ⇒生育後半の草勢の衰え ⇒小玉化につながる所以要注意！

※いかに低段を大きくし過ぎず、着果制限(4果以内)できるかが後半の収量アップのポイント！！

- 窒素以外の成分、リン酸、カリ、微量要素をしっかりと補給。高温期は窒素が優先吸収される！
- ◆ **ホストッフ**（亜リン酸+カリウム） →葉先枯れ・スジ腐れ果対策・弱いブレーキ
- ◆ **ホスカル**（亜リン酸+カルシウム） →尻腐れ果対策・草勢強い時の強いブレーキ
- ◆ **鉄カアクアF14**(2価鉄+微量要素) →発根促進・微量要素補給・異常茎・裂果防止

※7～10日間隔で葉面散布もしくは灌水施用を行うと良い。

- 草勢強く葉が大きくなり過ぎ葉が玉を抱え込むことによる果実結露が原因で**ガサ玉**が発生す

ることがある（低段、終盤）。葉が大きい場合、低段は収穫1週間前頃に摘葉、玉出しで株元・果房周りの通気性を良くし適度に光を当てる、曇雨天日は循環扇等で換気 →玉肥大、着色促進、空洞果減にも効果有り。

・異常茎対策

- 施肥管理 →過剰追肥厳禁。アミノ態窒素を推奨。リン酸・カリウム・ホウ素、カルシウム等の微量要素を併用する（スイカ、キュウリ等の後作の場合特に注意！！）
- 乾燥・過灌水 →少量多回数灌水。草勢が強い時は午後～夕方の灌水も効果あり
- ホルモン処理 →低段は確実に行き樹勢のバランスを保つ。高温時は涼しい時間帯に行く（朝+夕）
- 摘葉 →初期草勢が強い場合、葉枚数を減らす（スイカ、キュウリ後は重要）。

・曇雨天・高温対策

- ・曇雨天 →光合成量低下・代謝不良・根の活力低下→液肥（微量要素入り）葉面散布が効果的！
 - ・高温 →サイド+ツマ面換気、ハウス内の空気を動かす 循環扇の利用は◎
 - 遮光カーテン（ハウスビニールへの塗布剤）の利用
 - 通路灌水+通路の被覆。ハウス内気温・地温・果実表面温度上昇の抑制
 - 液肥の葉面散布が効果的！ケイ酸肥料（バリカタ等）の葉面散布で葉を硬くし萎れ難くする
- 曇雨天後の晴天時に萎れ易い⇒萎れる前に早めの遮光と灌水！
十月に一度のサカタ液肥 GB（1 kg/反）灌注で萎れ予防と根張り促進

1. 「麗妃(れいき)」～黄化葉巻病(TY)耐病性、着果性と秀品率が抜群！ 大玉で抑制・促成栽培向け～

- ・高温着果性と秀品率が抜群！ 裂果、軟果玉、空洞果に非常に強い。果形丸くきれい。黄変果少なく食味良好。
- ・果実サイズ（目安 240g）が大きく多収。 ★玉サイズと品質を求める従来品種を作付け中の方にお奨め★
- ・草勢中程度。節間やや長め→元肥の窒素分控える→異常茎も減る＝リン酸・カリウム・カルシウム・ホウ素・苦土等微量要素の葉面散布活用。下葉から苦土欠症状が出やすいため苦土の葉面散布（ホスマグ等）有効。低段は摘葉玉出し！

2. 新品種「かれん」～黄化葉巻病(TY)耐病性、食味極良！ 節間極短い！ 抑制・半促成栽培向け～

- ・節間が「りんか 409」並に短く作業性優れる。元肥の窒素過多に注意★「りんか 409」で TY に困っている方にお奨め
- ★高温着果性良く、果形きれい。果実サイズ（目安 220g）りんか 409 よりやや控えめで適度な大きさ。裂果に強く、食味極良。草勢中程度。
- ・温度下降期に着色が遅れる傾向があるため高めの夜温管理・玉出し・リン酸・カリウムの葉面散布が良
- ・管理はりんか 409 に準ずる。短節間で草勢が強いと葉が混み合うため低段の葉かき、玉出しが重要。

3. 「麗月(れいげつ)」～着果性と秀品率が抜群！ 食味極良、極硬玉で裂果に強い 夏秋・抑制栽培向け～

- ・着果性と秀品率が極良！ 裂果、空洞果の発生極少ない。 ★「りんか 409」を裂果で止めた方にお奨め★
- ・果実は豊円腰高、食味極良。果実サイズ目安 210g。草勢中程度。節間短い。
- ・灌水や追肥が遅れると樹がばてて小玉傾向になる事があるので注意！摘果が有効

4. 台木：草勢強めの新品種「グランシールド」が相性良くお奨め～青枯病、褐色根腐病、かいよう病に強くスタミナあり～ ・太根型で根量多くバランス良い、初期に強くなりすぎず、後半までスタミナがあるやや強めの台木。

以上